

## ラロキシフェン塩酸塩錠 60mg 「DK」 の 安定性に関する資料

### 【はじめに】

ラロキシフェン塩酸塩製剤であるラロキシフェン塩酸塩錠 60mg 「DK」 の市販後の安定性を、加速試験により確認した。

### 【試験内容】

試験製剤	紙箱入りのアルミパックした PTP 包装 (3 ロット)
保存条件	温度：40±2℃、湿度：75±5%RH
保存期間	開始時、1、3 及び 6 ヶ月
試験項目	性状、確認試験、純度試験、製剤均一性試験 (含量均一性試験)、溶出試験、定量試験

### 【試験結果】

試験結果を別紙に示した。

### 【結論】

ラロキシフェン塩酸塩錠 60mg 「DK」 の市販後の安定性を検討するため、加速試験 (40±2℃、75±5%RH、保存期間 6 ヶ月) を行った結果、全ての試験項目について規格内であった。従って、通常の市場流通下において 3 年間安定であることが推測された。

別紙

【試験結果】

試験項目 \ 保存期間	開始時	1 ヶ月	3 ヶ月	6 ヶ月
性状	適合	適合	適合	適合
確認試験	適合	適合	適合	適合
純度試験	適合	適合	適合	適合
製剤均一性試験 (含量均一性試験)	適合	適合	適合	適合
溶出試験 (%) <sup>注1)</sup>	85.9~92.3	84.0~91.4	81.8~89.1	82.2~88.1
定量試験 (%) <sup>注2)</sup>	99.8~100.9	99.4~101.0	99.0~100.6	99.9~100.7

注1) 3ロット各3回測定(1回6ベッセル)の最小値~最大値

注2) 3ロット各3回測定の最小値~最大値

規格

性状	ごく薄い黄白色の楕円形のフィルムコーティング錠である
確認試験	赤外吸収スペクトル測定法(塩化カリウム錠剤法): 波数 3140 $\text{cm}^{-1}$ 、2690 $\text{cm}^{-1}$ 、1641 $\text{cm}^{-1}$ 、1596 $\text{cm}^{-1}$ 、1540 $\text{cm}^{-1}$ 、1463 $\text{cm}^{-1}$ 、1169 $\text{cm}^{-1}$ 、 1038 $\text{cm}^{-1}$ 、906 $\text{cm}^{-1}$ 及び840 $\text{cm}^{-1}$ 付近に吸収を認める
純度試験	類縁物質 液体クロマトグラフィー: 試料溶液のラロキシフェンに対する相対保持時間約 1.1 のピーク面積は、標準溶液のラロキシフェンのピーク面積の 1/5 より大きくなく(0.2%)、試料溶液のラロキシフェン及び上記以外のピークの面積は、標準溶液のラロキシフェンのピーク面積の 1/10 より大きくない(0.1%) 試料溶液のラロキシフェン以外のピークの合計面積は、標準溶液のラロキシフェンのピーク面積の 1/2 より大きくない(0.5%)
製剤均一性試験 (含量均一性試験)	含量均一性試験を行うとき、適合する
溶出試験	60 分間の溶出率: 70%以上
定量試験	含有率: 95.0~105.0%